



J R 喜多方駅・塩川駅 開業 **120** 周年記念事業

～線路は続くよ いつまでも～

明治37年1月20日に開業した喜多方駅は、令和6年1月20日に120周年を迎えます。地域の「足」の拠点として、また本市を訪れる観光客の玄関口として重要な役割を担ってきた喜多方駅の120周年を、皆様と共に祝うイベントを実施します。



日時：令和6年1月20日(土) 時間：10:00～14:00

場所：J R 喜多方駅 車でお越しの方は、駅前駐車場をご利用ください。(無料券配布)

セレモニー ▶ 10時15分頃から10時40分頃まで

セレモニーでは喜多方駅開業日を記念して(株)太郎庵特製ケーキカットを行い、来場者の皆様に振る舞います(無くなり次第終了)



駅構内イベント

先着 120 名様限定で
入場券を無料配布!

※ 駅構内で行われるイベントに参加する場合は入場券(大人150円・小人70円)が必要となります

改札業務体験

切符確認など改札業務を体験しよう!



E 120系車両停車 11:00から14:00

喜多方駅3番ホームにE120系車両が登場! 地元園児の絵画の展示や子供向け駅員の制服着用・記念撮影会も開催

駅カードプレゼント

喜多方駅開業 120 周年を記念した特製駅カードをプレゼント



駅コンサート

列車の発着に合わせて、来場者を駅にちなんだ演目でおもてなし



特製グッズ入りガチャガチャ

レアな鉄道グッズも!?



その他のイベント(駅待合室など)

11:00～

喜多方ラーメンテープカット

お土産用喜多方ラーメンが付いた全長 120mの特製テープカット。一緒にカットしていただける方大募集! (お土産ラーメン1食分プレゼント) (参加希望の方はカット用のハサミをご持参のうえ、10:30 までに集合してください)

一緒にカットして
いただける方募集!



ミニ喜多方ラーメン振る舞い

地酒・甘酒の振る舞い

岩越鉄道敷設の功労者・渋沢栄一をはじめとした明治のコスプレ隊によるお出迎え



120周年記念駅弁販売

東京駅で人気 No.1 の「海苔のりべん」など数種類を限定販売



吊り革瓶立てゲーム

見事ボトルを立たせたら JR 東日本のノベルティをプレゼント



出張! 雪小法師コンテストPR

今年のテーマ「JR喜多方駅開業120周年」をPRするために、雪の滑り台を設置します。(中止の可能性あり)

当日は天候等によりイベント内容が変更となる場合があります。予めご了承下さい。

主催:喜多方市・会津喜多方商工会議所・東日本旅客鉄道(株)東北本部 主管:会津喜多方商工会議所「喜多方観光まちづくり委員会」
協力:極上の会津喜多方推進委員会、喜多方駅前商栄会、栄町さつき会、(一社)喜多方観光物産協会、きたかた商工会、TEAMエンターテイメントきたかた、
極上の女子会、酒蔵オペラ合唱団、(株)太郎庵、喜多方市建設業組合

令和5年ふるさと創生事業補助金

～岩越鉄道から磐越西線へ～ 地域と共に歩む喜多方駅は開業から

120周年

発行：会津喜多方商工会議所「喜多方観光まちづくり委員会」（掲載写真の一部は喜多方市発行の「図説会津喜多方の歩み」より）

【喜多方駅および磐越西線のおゆみ】

- 1896年(明治29年) 岩越鉄道(株)設立
- 1898年(明治31年) 郡山～中山宿(当時は信号場)開業
- 1899年(明治32年) 会津若松延伸開業
- 1904年(明治37年) 喜多方延伸開業**
- 1906年(明治39年) 国有化、官設鉄道・岩越線
- 1910年(明治43年) 山都延伸開業
- 1913年(大正2年) 野沢延伸開業
- 1914年(大正3年) 岩越線全通開業
- 1917年(大正6年) 3月、松野トンネル崩落事故
(喜多方～山都間不通、翌年に解消)
10月、磐越西線に改称
- 1938年(昭和13年) 日中線(喜多方～熱塩駅間)全通
- 1958年(昭和33年) 喜多方駅改築落成
- 1967年(昭和42年) 郡山～喜多方間の電化開業
- 1972年(昭和47年) 喜多方駅へ自動券売機設置
- 1984年(昭和59年) 日中線が全線廃止
- 1987年(昭和62年) 国鉄分割民営化
- 2017年(平成29年) 喜多方駅、業務委託化
- 2022年(令和4年) 8月3日、記録的豪雨により
濁川橋梁の一部崩落
- 2023年(令和5年) 4月、濁川橋梁復旧、再開通
- 2024年(令和6年) 1月20日喜多方駅・塩川駅開業120周年

開業当時の喜多方駅▶

若松から喜多方間までが
明松間の開業から始まり、
明治37年1月20日に会津
の「岩越鉄道線」として
明治32年に郡山～会津若
松間の開業から始まり、



開業しました。その後、
鉄道国有法が交付され官
設「岩越線」となり、喜
多方以西の工事に着手。
晴れて大正3年に全通と
なりました。大正6年に
は平郡線(現在の磐越東
線)が全通となり、岩越線
も現在の「磐越西線」へ
と改称されました。
以来、120年に亘り
重要な交通機関として地
域を支えています。



▲現在の喜多方駅

駅開業に 尽力した人々

喜多方駅の開業までには多くの人の
尽力がありました。

岩越鉄道の開業では日本資本主義の
父と呼ばれる明治時代の
実業家・渋沢栄一がアド
バイスを行い、自らも出
資したうえ創立委員の一
員になったことは有名です。



▶原平蔵町長
有志、更には喜多方市出身の岩越鉄道
役員らの熱意と努力により喜多方へ延
伸・開業に至りました。
こうして人々の活躍なしには今日の
喜多方駅は存在しませんでした。



喜多方駅今昔物語

明治～昭和期の フォトギャラリー

▼明治期、喜多方駅前に
待機する人力車



▲明治期の喜多方駅前の風景



▲駅開業間もなく日露戦争が開戦。
終戦後、勝利を記念して駅前には
凱旋門が建てられた



▶昭和期の駅構内。運搬
した荷物の仕分け等が
行われている。

▶構内から喜多方駅を望む。
奥には雄国山が確認でき
る。



昭和後期～平成初期の駅前



▶昭和33年の改築前の
喜多方駅



東日本大震災時の ライフラインを支えた 磐越西線

平成23年3月11日に発生した
東日本大震災では、東北本線が
不通となり首都圏から県内の被
災地等へ燃料を運ぶ手段が一時
失われました。その際、新潟を
經由し磐越西線を活用した運搬
ルートが急遽運用されました。
ディーゼル機関車DD51による
輸送により、被災地へ無事燃料
を提供する事が出来ました。
人々の生活と経済を支える上
で、鉄道を使った物流の重要性
を実感する出来事であり、この輸
送実績等を踏まえ磐越西線は土
木学会推奨土木遺産に認定され
ました。

8・3豪雨災害 J.R.関係機関の 尽力により早期復旧

令和4年8月3日の豪雨災
害では、磐越西線の濁川橋梁
が一部崩落し、喜多方駅～山
都駅間が不通となりました。
通勤・通学や観光など、様々
な面で深刻な影響が出まし
た。復旧までに相当な時間を
要すると思われましたが、喜
多方市や連携する市町村によ
る要望をはじめJR仙台北支社
(現東北本支社)と新潟支社
と関係機関の協力により令和
5年4月1日に復旧しまし
た。



1月20日のイベントにお越しの際は
「市営・喜多方駅前駐車場」をご利用下さい
喜多方駅前観光案内所にて無料券を配布します